

2026年度 50期生 3年次 カリキュラム 一覧

分野	学科目		教科目	単位	講義時間		講義回数	講師名	配点	実務経験の有無	ページ	
基礎	統計学		情報処理（文献検索、統計解析等）	1	15	15	8	外部講師	100	無	1	
専門分野実務総合と地域・在宅	地域・在宅	暮らしと看護Ⅱ	離島における保健活動（グループワーク）	1	15	7	4	副校長（看護師）	100	有	2	
		暮らしと看護Ⅱ	離島における保健活動（済生丸）			4	2	専任教員（看護師）				
		暮らしと看護Ⅱ	多職種連携			4	2	副校長（看護師）				
	看護の総合と実践	看護の統合と実践			1	15	15	8	専任教員（看護師）	100	有	3
		看護研究Ⅱ			1	30	30	15	専任教員（看護師）	100	有	4
		看護管理			1	15	15	8	済生会職員（看護師）	100	有	5
		看護と法令		基礎、地域・在宅、成人、老年、小児、母性、精神	1	15	13	7	専任教員（看護師）	100	有	6
		臨地実習	地域・在宅	地域・在宅看護論実習		2	90	実習要項参照		専任教員（看護師）	100	有
成人・老年	成人・老年看護学実習Ⅰ（慢性期）			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
	成人・老年看護学実習Ⅱ（急性期）			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
	成人・老年看護学実習Ⅲ（終末期）			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
	成人・老年看護学実習Ⅳ（回復期）			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
小児・母性・精神看護学実習	老年看護学実習			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
	小児看護学実習			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
	母性看護学実習			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
	精神看護学実習			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
	総合実習			2	90		専任教員（看護師）		100	有		
	実務経験「有」の教員等の授業科目の単位数合計									25		

【1単位 認定試験の受験資格】

①講義回数 8回の場合： 6回以上出席が必要

②講義回数 15回の場合： 10回以上の出席が必要

③講義回数 23回の場合： 16回以上の出席が必要

* 前年度単位認定されていても、再履修し60点未満であった場合再試験は受験すること。

2026年度授業計画（シラバス）

教授科目	統計学			担当講師名	外部講師
対象学生	3学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	無
授業目標	情報技術（IT）、統計学の基礎を学び、医療・看護・健康問題を分析、理解できる能力を身につけ、看護活動や看護研究に役立てる基礎的能力を養うことを目的とする。 ・情報リテラシーの概念が理解できる。 ・統計学の基本的な理論を理解する。 ・Excelの分析ツールを活用したデータの整理、基本統計量の求め方、グラフなどを用いた表現方法などを修得する。 ・データを統計学的視点から分析し、統計学資料を理解できる。 ・看護の科学的根拠の裏付けとして統計学を活かすことができる。				
授業計画	1.統計学の基礎 統計学と医療、看護の関わりとデータの整理の仕方と処理の基礎を学ぶ 2.記述統計と推測統計 3.統計データの種類とまとめ方（データのグラフ表現） Excelを使用し、データの種類とまとめ方、グラフ化の実践演習 2.確率と分布 確率と分布の概念を学び、Excelを用いてデータ処理を行いその結果を正しく解釈する 3.母集団と標本と推定 母集団・標本の概念および推定について説明できる。 4.各種検定 データに合わせた統計解析手法を理解し、選択できる。 5.保健医療の統計の意義・主な統計調査				
教科書	看護研究 系統看護学講座-別巻 看護研究 著坂下 玲子/宮芝 智子/小野 博史 ISBN978-4-260-02182-1				
参考書					
授業の進め方	パソコンを利用して、授業を進める				
評価の方法	課題提出（30%）、筆記試験（40%）、授業・演習課題へ取り組む姿勢（30%）で評価				
メッセージ	統計学は、看護を含めた幅広い医療分野において集団の特徴やそこに内在する傾向などを、客観的（定量的）に評価するために必要とされる。 具体的な医療現場での事例を用い、できる限りやさしく学習できるようにする。				

2026年度授業計画（シラバス）

教授科目	暮らしと看護Ⅱ			担当講師名	副校長
対象学生	3学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	離島の暮らしと地域の特徴を知り、離島の医療と保健活動を理解する。 地域で暮らす人の健康を支える看護職と多職種役割の違い、連携と協働について理解する。				
授業計画	1. 瀬戸内海巡回診療船「済生丸」の活動（1～3回） 離島の人々の暮らしと地域の特徴 1)グループ学習 ① 実習目標「離島の暮らしと地域の特徴を知る」を達成するため、 島の特徴と住民の健康に関することを学習する。 （内容）・人口推移と構成の特徴 ・環境と経済、島民の生活環境と医療など ・地域の健診の実際（受信状況）など ・島民の生活環境から健康問題を考える ・済生丸の利用状況 ・事前に得られなかった内容など実習で習得したいこと 2)グループ発表（0.5回） ①全体発表 時間は1グループ7分 2.済生丸実習（4.5回） 3.多職種の連携と協同（6.7回） 歯科衛生士の学生と協同学習 技術演習とグループワーク				
教科書	なし				
参考書	実習要項、各自で必要なテキストや資料を準備				
授業の進め方	演習、実習				
評価の方法	演習・発表、実習レポート 済生会概論Ⅱ評価表				
メッセージ					

2026年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護の統合と実践			担当講師名	専任教員
対象学生	3学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	看護実践能力（気づき、解釈、反応、省察）を習得することができる				
授業計画	1.オリエンテーション 2.シェア学習 看護問題・看護診断・共同問題・潜在的合併症の統一 3.4状況1について シミュレーション演習 5.リフレクション 6.報告・SOAP 7.看護計画の見直し 8.認定試験の振り返り（状況2）				
教科書					
参考書					
授業の進め方	講義、演習、シェア学習				
評価の方法	技術試験 ルーブリック評価 リフレクションシート 看護過程用紙				
メッセージ	対象の状況を捉えるためにはまず、気づき、そこに行動をおこななければ看護は成立しません。 看護学生として対象の言葉や表情、態度に気づける自分。気づいたら、次にどんな行動をおこななければならないのか考え、実践し、反応を捉えることができる能力を身につけてください。				

2026年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護研究Ⅱ			担当講師名	専任教員
対象学生	3学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	実践した看護をケーススタディにまとめ、自己の看護の成果と課題を明確にし、研究の基礎的能力を養う。				
授業計画	1. 抄録規定と評価について 2. ケーススタディ計画書の作成、文献検索 3～6 レポート作成、抄録作成（指導教員に指導を受けながら進めていく） 7 発表原稿とパワーポイントの作成について 8～9 済生会看護学生研究発表会 10～15 ケーススタディ発表会				
教科書	別巻 看護研究 医学書院				
参考書	南裕子、野嶋佐由美：看護における研究 第3版,日本看護研究出版会,2025 松本学,森田夏実：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方,照林社				
授業の進め方	学生が主体的に担当教員に指導を受け、計画に沿って進めていく				
評価の方法	発表会終了後、取り組み～発表までの評価を行う				
メッセージ					

2026年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護管理			担当講師名	済生会職員
対象学生	3学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	看護管理の目的・看護組織および看護単位のマネジメントについて理解する。				
授業計画	1.看護におけるマネジメント 1)マネジメントが行われる場 2)マネジメントの考え方 2.看護ケアのマネジメント 1)安全管理 2)チーム医療 3)看護業務の実践 3.看護サービスのマネジメント 1)看護サービスのマネジメントの対象と範囲 2)看護管理システム 3)人材・物品・情報のマネジメント 4)サービスの評価 4.看護を取り巻く諸制度 1)看護職と法・制度 2)看護政策と制度 ・組織 ・リーダーシップとフォロワーシップ ・人的資源の管理 5.看護職のキャリアマネジメント 1) 看護職のキャリア形成				
教科書	看護管理（医学書院） 看護学概論（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義 教科書を中心とした講義・演習（グループワーク）				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2026年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護と法令			担当講師名	専任教員
対象学生	3学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	法令と看護実践を結びつけ社会における看護の責任と役割を理解する。				
授業計画	1. 病院における看護の保障と法的責任 2. 基礎看護学に関する法令 3. 地域・在宅看護論に関する法令 4. 成人看護学に関する法令 5. 老年看護学に関する法令 6. 小児看護学に関する法令 7. 母性看護学に関する法令 8. 精神看護学に関する法令				
教科書	看護関係法規 看護職の基本的責務				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ	看護実践を振り返り、どんな法的根拠に基づいて看護がなされているか考察していきましょう。				